



若葉小だより

調布市立若葉小学校
保護者アンケート号
令和3年2月18日
校長 渡邊桂子

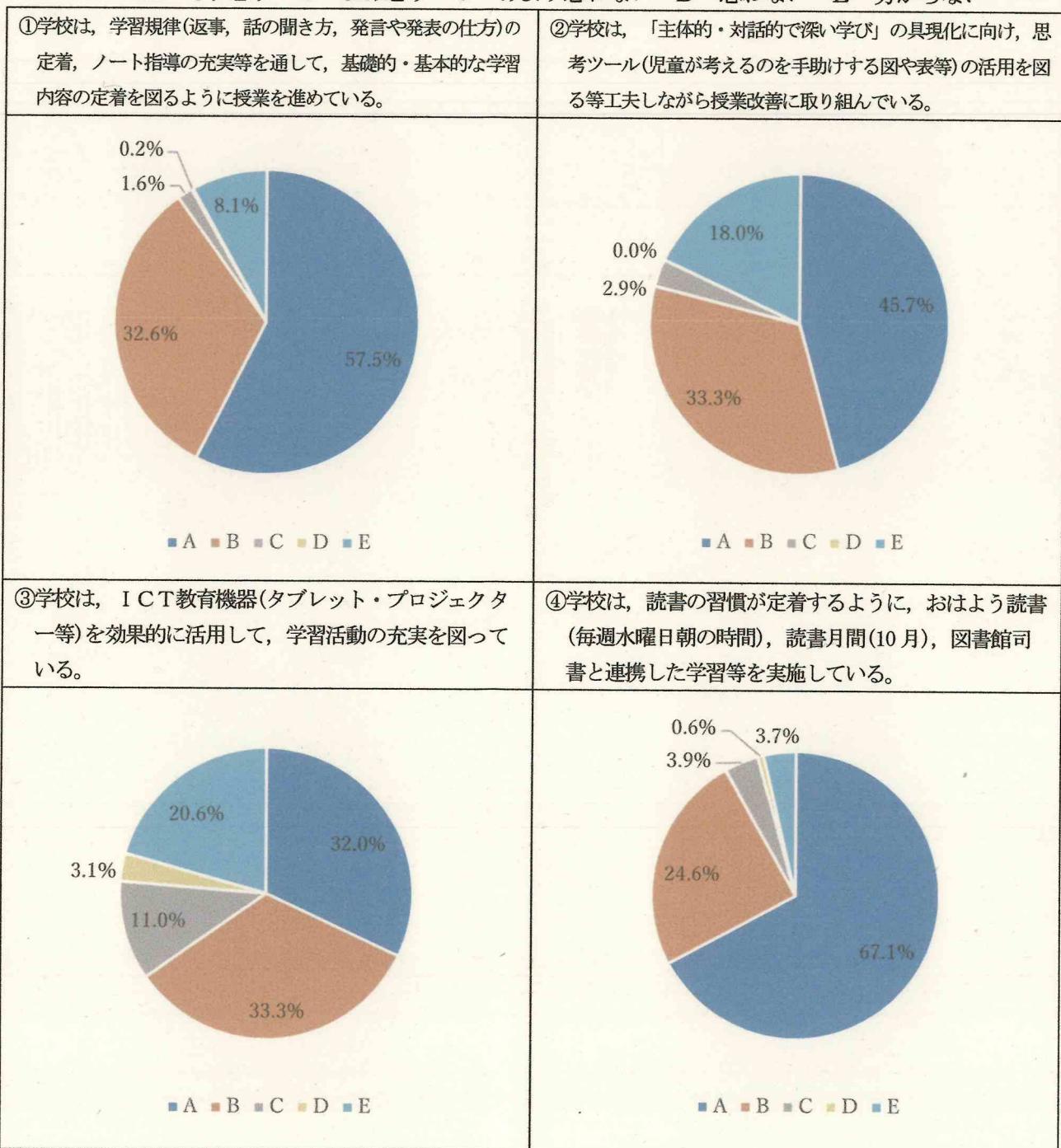
HP <http://www.chofu-schools.jp/wakaba-sho/> E-Mail wakaba-sho@chofu-schools.jp

「若葉小 未来につなげる みんなのわ」

昨年12月に実施しました保護者アンケートの集計結果についてお知らせします。

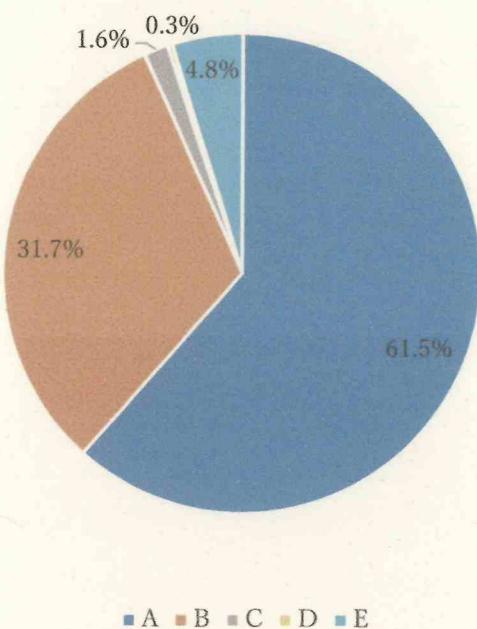
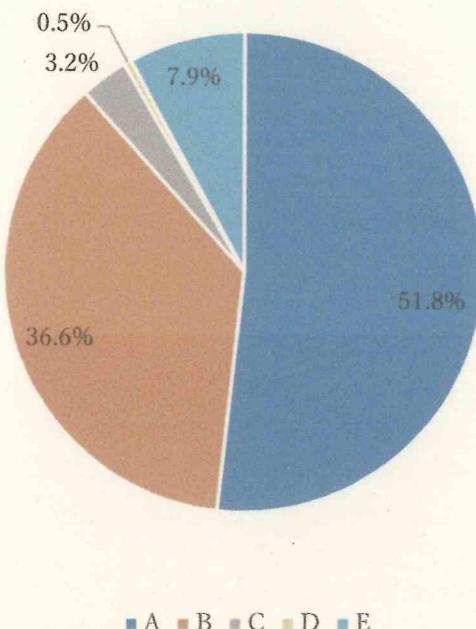
保護者の皆様からいただいた貴重なご意見を今後の教育活動に役立てまいります。引き続き、本校の教育にご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願ひします。

A…そう思う B…まあ思う C…あまり思わない D…思わない E…分からぬ



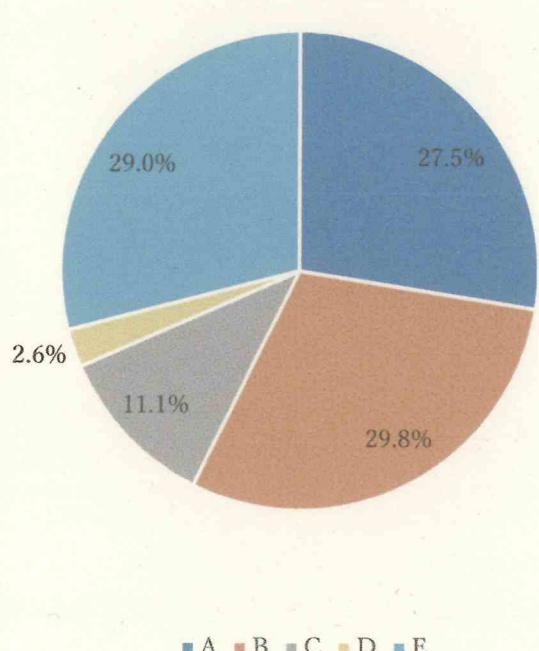
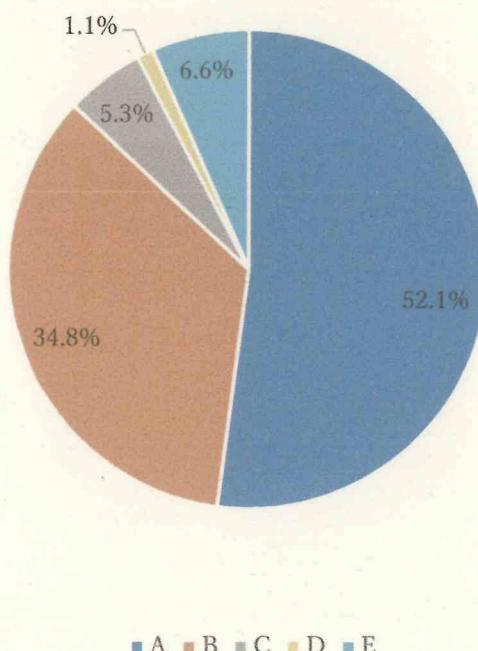
⑤学校は、挨拶、言葉づかい、時間を守る、整理整頓等の基本的な生活習慣が身に付くように一貫した指導をしている。（「わかばっ子」の活用等）

⑥学校は、豊かな心を育むために、人との関わり方について学ぶ機会を意図的に設定して指導している。（道徳科の授業、あいさつ運動・きょうだい学年交流・隣接学年との交流等）



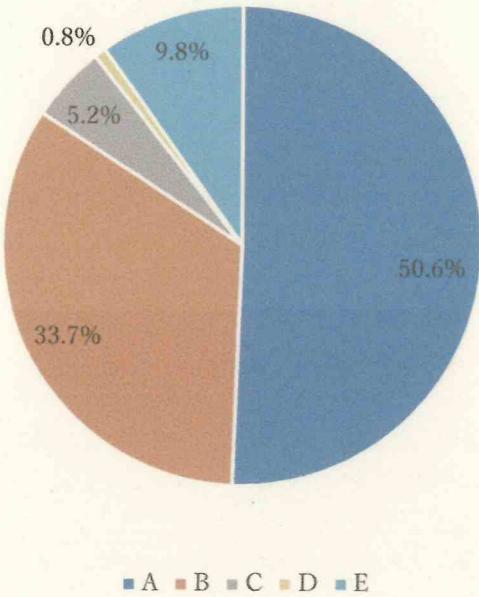
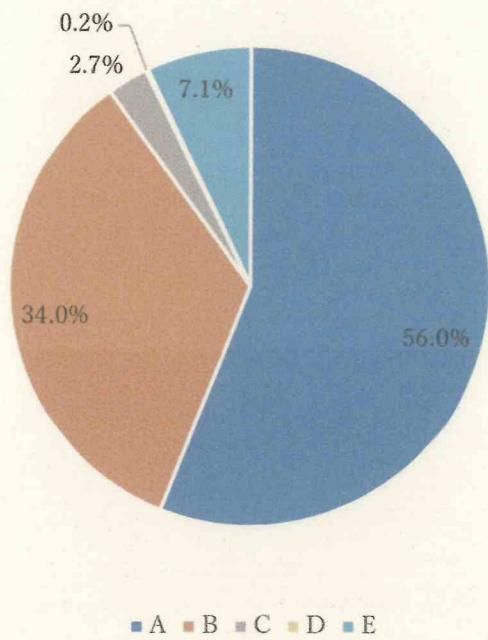
⑦学校は、体力の向上（なわとび等）、健康な生活（保健指導）、健全な食習慣（給食指導・食育等）を身に付けるための指導や食物アレルギー事故防止に向けた取組を行っている。

⑧学校は、ICT教育機器を活用しての集会や学年・学級の活動、行事、日常の教育活動を通して、一人一人のよさを伸ばすような指導を行っている。

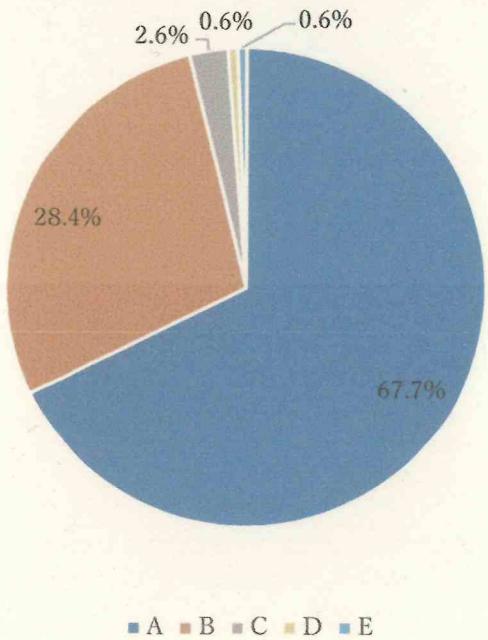


⑨学校は、毎月の避難訓練やセーフティ教室、警察署と連携した不審者対応訓練等を行う等して、児童がその時に応じて適切な危険回避行動がとれるように安全指導を行っている。

⑩学校は、地域の自然や文化を生かした活動(実篠記念館・若葉分館の活用等)、各学年に応じた体験活動(福祉体験、水道キャラバン等)、保護者・地域学校協働本部を活用した教育活動(校外学習等)を実施している。



⑪学校は、学校だより、ホームページ、学年だより、学校安心・安全メール等で保護者・地域に情報を発信している。



【アンケート結果の考察及びまとめ】

昨年度から、児童数での回答から家庭数での回答に形式を変更しましたが、本年度の回答率は93.8%で昨年度より2.2%増でした。引き続き本校の教育活動へ高い関心が寄せられていることが分かります。アンケートへの回答にご協力をいただき、ありがとうございました。

また、本年度、校長が示す学校経営方針に基づいた設問になるよう見直しを行い、設問を1つ増やしました。11の設問中5の設問において、90%以上の方から「そう思う」「まあ思う」を合わせた肯定的な評価をご回答をいただきました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。4・5月の2か月間の臨時休校、緊急事態宣言、その後も感染拡大・蔓延防止のため教育活動そのもの、加えて保護者・地域の皆様への公開の場や保護者会等の設定にも強い制約が加えられました。にもかかわらず、概ね肯定的な評価をいただいたことをありがとうございます。本校の教育活動に日頃よりご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

【学習】アンケート内容変更のため、単純な比較はできませんが、設問②の「主体的・対話的で深い学びの具現化」「思考ツールの活用等による授業改善」、設問③の「ICT教育機器の効果的な活用」に関して、学校からの発信が少なく「分からない」とご回答いただいた方が多かったのは、反省点の一つです。

しかしながら、設問②につきましては、概ね肯定的な評価をいただきました。次年度も児童の思考力・判断力・表現力等を育むためにも、思考ツールは活用してまいります。対して、設問③につきましては、不十分との評価も数多く頂戴しました。2月に全児童に一人一台のiPadが調布市教育委員会から貸し出されましたので、今後は、家庭学習、ドリル学習、調べ学習等に効果的に活用を図ってまいります。

設問①「学習規律や基礎的・基本的な学習内容の定着」では90.1%と高い評価をいただきました。今後もさらなる教員の授業力向上に向けて、研修・研究を重ねてまいります。

設問⑩「体験活動・保護者や地域を活用した教育活動の展開」では、制約の多かった今年度でも84.3%と概ね高い評価をいただきました。今年度は、中止になった体験活動も少なくなかった中、パラリンピアンの講演・実技指導、調布警察署によるセーフティ教室、東京都水道局による水道キャラバン等、調布市選挙管理委員会による模擬選挙体験、調布市社会福祉協議会による福祉体験等で様々な分野のゲストティーチャーをお招きして体験的な学習を実施することができました。

本年度は、「サマーチャレンジわかば」や地域行事は軒並み中止となりましたが、自然体験活動で地域学校協働本部、はけの森の会の方々にもお世話になりました。次年度も可能な範囲で外部人材を取り入れた学習を進めてまいります。また、調布消防署つつじが丘出張所、武者小路実篤記念館、キューピー株式会社仙川キユーポート、東部児童館、学童クラブ・ユーフォー等地域の施設にも見学活動や体験活動でお世話になりました。感謝申し上げます。

【生活】設問⑤「基本的な生活習慣の定着」、設問⑥「人との関わり」では、肯定的な評価が昨年度より増えました。基本的な生活習慣の基礎となるあいさつについては地域の方々、PTAの皆様の等のご協力に加え、代表委員会の活動により、取り組みは充実しています。しかしながら、挨拶は、運動期間中だけではなく、日々、継続することが大切です。ご家庭でも子供たちに挨拶の習慣がしっかりと身に付くよう、引き続き根気よくお声かけください。

【学校の取り組み】設問⑧につきましては、保護者の皆様への学校の様子の公開の設定が本年度は著しく少なかったこともあります、「分からない」とご回答いただいた方が多く、上記同様、申し訳なく思います。加えて、「一人一人のよさを伸ばすような指導」については不十分な結果となりました。一人一人の子供たちの成長を温かく見守り、よさや可能性を伸ばす教職員集団であるよう、研さんを積んでまいります。

本年度のアンケートでも全ての項目で概ね高い評価をいただきました。情報発信については今後も課題として、ホームページに加え、安心・安全メールで、保護者・地域の皆様に少しでも伝わるよう努力し、次年度に向けてさらなる充実を図ってまいります。